

令和2年度事業報告

1. 学術集会, 講演会等の開催 (定款第4条第1号)

(1) 年会の開催 (誌上開催)

第93回日本薬理学会年会『Bidirectional talk between bench and bedside 薬理学を一つの舞台に』

年会長: 五嶋 良郎 (横浜市立大学大学院医学研究科 分子薬理神経生物学 教授)

登録者数: 計 1,384 名

(学術評議員 510 名, 一般会員 321 名, 大学院生 186 名, 学部学生 181 名,
非会員 71 名, シンポジスト 76 名, 名誉会員・永年会員他 39 名)

演題数: 856 演題

(Plenary Lecture 1 演題, 特別講演 11 演題, JPS-ASCEPT Lecture 1 演題,
受賞講演 4 演題 (江橋節郎賞 1 演題, 学術奨励賞 3 演題),
年会企画シンポジウム 2 企画 8 演題, 企業企画シンポジウム 2 企画 9 演題,
シンポジウム 34 企画 134 演題, JPS サテライトシンポジウム 1 企画 4 演題,
共催シンポジウム 3 企画 13 演題, 緊急シンポジウム 1 企画 4 演題,
モーニングセミナー 3 企画 3 演題, 一般演題 572 (口演・ポスター),
Late breaking session 27, 学生セッション 65.

(2) 地方部会

(春の部会は, いずれか一方の参加登録で両学会に参加できる等, 他部会との連携で開催された)

- 第142回日本薬理学会関東部会 部会長: 三枝 禎 (日本大学・歯)
2020年6月6日 オンライン開催
参加者約200名, 教育講演1, 特別講演2, 一般演題 (口演12題, ポスター34題)
- 第137回日本薬理学会近畿部会 部会長: 見尾 光庸 (就実大学・薬)
2020年6月20日 (~7月4日) オンライン開催
参加者168名, 特別講演1, 一般演題 (ポスター45題)
- 第71回日本薬理学会北部会 部会長: 若森 実 (東北大学・院歯)
2020年9月4日 仙台国際センター(宮城県仙台市)とオンラインによるHybrid開催
参加者107名 (オンサイト56名, オンライン51名), 一般演題 (42題),
研究助成金受賞演題4題, 次世代薬理学セミナー
- 第143回日本薬理学会関東部会 部会長: 山田 充彦 (信州大学・医)
2020年10月24日 オンライン開催
参加者148名, シンポジウム10, 一般演題 (ポスター52題)
- 第138回日本薬理学会近畿部会 部会長: 川畑 篤史 (近畿大学・薬)
2020年11月14日 オンライン開催
参加者198名, シンポジウム8, 一般演題 (口演51題)
- 第73回日本薬理学会西南部会 部会長: 甲斐 広文 (熊本大学・院生命科学)
2020年11月21日 オンライン開催
参加者約130名, 国際シンポジウム3, 特別講演1,
一般演題 (口演22題, ポスター35題), 看護薬理カンファレンス (遠隔同時開催)

(3) 公開講座の開催

- ・公開講座 (第93回年会) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ・公開講座 (第142回関東部会) 2020年6月6日 オンライン開催及び動画配信 世話人: 三枝 禎 (日本大学・歯)
『脳によい食事』 演者: 功刀 浩 (帝京大学・医), 座長: 堀江 俊治 (城西国際大学・薬)
- ・公開講座 (第143回関東部会) 2020年10月28日 オンライン開催及びオンデマンド配信
『心不全の予防・診療・リハビリテーションの最前線』 世話人: 山田 充彦 (信州大学・医)

(4) 次世代薬理学セミナーの開催

- ・次世代薬理学セミナー（第71回北部会）2020年9月4日 オンサイトとオンラインによるHybrid開催
『こころと精神疾患を理解するための次世代アプローチ』（400名超のオンライン視聴）

(5) 看護薬理学カンファレンスの開催

- ・看護薬理学カンファレンス in 熊本（第73回西南部会開催時オンライン開催），2020年11月21日
大会長：宮田 篤郎（鹿児島大学・院医歯）
- ・看護薬理学カンファレンス in 東京（オンライン開催），2020年12月20日
大会長：池谷 裕二（東京大学・院薬）

(6) 他学会等との共催学術集会の開催（※第93回年会の企画は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

※日本医学会連合加盟学会連携フォーラム

（予定企画）『脳深部刺激（DBS）：機能的脳外科領域における解剖・生理・薬理学連携と若手研究者育成』

※日本実験動物技術者協会共催シンポジウム

（予定企画）『薬理学研究・実習における動物実験技法の継承にむけて』

※日本生理学会共催シンポジウム

（予定企画）『精神疾患メカニズム解明に向けた多角的アプローチ ～細胞からヒトまで俯瞰して～』

※日本臨床疫学会共催シンポジウム

（予定企画）『大規模医療データベースを活用した臨床疫学研究による医療や薬剤の評価』

※日本臨床薬理学会共催シンポジウム

（予定企画）『薬理と臨床薬理とを1つの舞台に』

- ・日本臨床薬理学会共催シンポジウム 2020年12月3日（第41回日本臨床薬理学会学術総会時），福岡国際会議場
『先端的医薬品開発を目指す薬理学・臨床薬理学研究』
座長：吉岡 充弘（北海道大学・院医），齊藤 源顕（高知大学・医）
- ・日本臨床薬理学会共催シンポジウム 2020年12月3日（第41回日本臨床薬理学会学術総会時），福岡国際会議場
『データ駆動型薬理学・臨床薬理学研究』
座長：安西 尚彦（千葉大学・院医），茂木 正樹（愛媛大学・院医）

(7) 内外の関連学術団体との連携及び協力

- ・Joint Meeting of NC-IUPHAR and the British Pharmacological Society を2020年11月19日～21日にWebで開催した。
- ・IUPHAR town hall meeting（新ガバナンス体制案についての説明及び意見交換会）を2020年11月23日22:00～23:00にWebで開催し，谷内理事長，赤羽副理事長が出席した。
参加国：USA, UK, Japan, China, Australia, India, Italy（7カ国）。

2. 学会誌等刊行物の刊行（定款第4条第2号）

(1) Journal of Pharmacological Sciences の刊行

発行巻号	142巻1～4号，143巻1～4号，144巻1～4号	掲載頁数	（篇数）
① Review		60頁	（7）
② Full Paper		593頁	（72）
③ Short Communication		90頁	（21）
	合計	743頁	（100）

(2) 日本薬理学雑誌（くすりとかからだ／ファーマコロジカ）の刊行

発行巻号（部数） 155 巻 1 号（3,800 部），155 巻 2 号（3,800 部），155 巻 3 号（3,200 部），
155 巻 4 号（3,300 部），155 巻 5 号（3,350 部），155 巻 6 号（3,550 部），

	掲載頁数	（篇数）
① 特集序文	12 頁	(12)
② 特集および総説	262 頁	(50)
③ 実験技術	5 頁	(1)
④ 創薬シリーズ	16 頁	(3)
⑤ 新薬紹介総説	74 頁	(8)
⑥ キーワード解説	0 頁	(0)
⑦ 最近の話題	7 頁	(7)
⑧ サイエンス/リレーエッセイ	5 頁	(5)
⑨ 学会便り/研究室訪問	9 頁	(9)
⑩ アゴラ	12 頁	(6)
⑪ 広告	21 頁	
⑫ 綴込み，目次等上記以外の頁	101 頁	
合計	524 頁	(101)

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第 4 条第 3 号）

(1) 第 13 回日本薬理学会江橋節郎賞授賞

尾藤 晴彦（東京大学大学院医学系研究科・教授）

第 14 回日本薬理学会江橋節郎賞決定

西堀 正洋（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・教授）

(2) 第 35 回日本薬理学会学術奨励賞授賞（所属等の標記は授賞時）

北岡 志保（神戸大学 大学院医学研究科・講師）

『精神・神経変性疾患の病態形成に関与する脳内炎症および疾患モデル細胞を用いた創薬に関する研究』

出山 諭司（金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室・助教）

『レゾルビン類の抗うつ作用の機序解明と創薬応用に向けた薬理学的研究』

中村 達朗（東京大学 大学院農学生命科学研究科・特任助教）

『食物アレルギーにおける PGD₂ の役割解明と治療，診断への応用』

第 36 回日本薬理学会学術奨励賞決定

川畑 伊知郎（東北大学大学院・薬学研究科・特任准教授）

『パーキンソン病の新たな創薬標的の解明とその予防・治療応用研究』

菊田 順一（大阪大学大学院・医学系研究科・准教授）

『生体イメージングによる骨疾患治療薬の in vivo 薬理作用の解明』

野村 洋（北海道大学大学院・薬学研究院・講師）

『記憶・学習を司る神経回路機構および認知機能障害に対する創薬に関する研究』

(3) 第 25 回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定

A novel JAK inhibitor, peficitinib, demonstrates potent efficacy in a rat adjuvant-induced arthritis model
Misato Ito, Shunji Yamazaki, Kaoru Yamagami, Masako Kuno, Yoshiaki Morita, Kenji Okuma,
Koji Nakamura, Noboru Chida, Masamichi Inami, Takayuki Inoue, Shohei Shirakami, Yasuyuki Higashi
Volume 133, Issue 1, Pages 25-33 (2017)

(4) 第 93 回年会優秀発表賞

誌上開催のため、選考なし。

(5) 2020 年度 JPS 優秀査読者賞

- Naoki Inagaki (Gifu University of Medical Science)
- Atsushi Kasai (Osaka University)
- Akira Nishiyama (Kagawa University)

4. 薬理学に関する研究及び調査 (定款第 4 条第 4 号)

- (1) 日本生理学会と連携し、COVID-19 に対する各大学の対応と生理学及び薬理学教育への影響に関する緊急合同アンケート調査を行った。
- (2) 2020 年 9 月 10 日から 25 日まで、第 142 回関東部会参加者と第 137 回近畿部会の参加者にオンライン開催についてアンケートを実施した。オンライン開催に対して満足度は比較的高く前向きな意見が多く寄せられた一方で浮かび上がってきた課題もあり、今後検討する。

5. 内外の関連学術団体との連携及び協力 (定款第 4 条第 5 号)

- (1) 学術集会の共催および連携 上記 1. の(6)参照
- (2) 学術集会の協賛・後援 (令和 2 年総会資料掲載以降令和 3 年総会の前日まで)

後 援

1) 第 34 回日本酸化ストレス学会関東支部会		(開催延期)
2) 第 25 回 日本病態プロテアーゼ学会学術集会		(中止)
3) 次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2020		(2021 年 8 月に順延)
4) 第 5 回黒潮カンファレンス		(開催延期)
5) 創薬薬理フォーラム第 28 回シンポジウム	(オンライン開催)	10 月 9 日
6) 日本動物実験代替法学会第 33 回大会	(オンライン開催)	11 月 12 日, 13 日
7) 第 5 回トランスポーター研究会関東部会	(オンライン開催)	11 月 21 日
8) 第 30 回日本循環薬理学会	(オンライン開催)	11 月 27 日
9) 第 30 回神経行動薬理若手研究者の集い(オンサイトとオンラインの Hybrid で開催予定)		令和 3 年 3 月 7 日

協 賛

1) 第 27 回 H A B 研究機構学術年会	(オンライン開催)	令和 2 年 9 月 3 日~5 日
2) CBI 学会 2020 年大会	(オンライン開催)	10 月 27 日~30 日

6. 会議等の開催状況（令和2年総会資料掲載以降令和3年総会前日まで）

総 会	令和2年度 通常総会	令和2年3月24日	(決議の省略)	
学術評議員会	令和2年度	令和2年3月5日	(東京)	
理 事 会	令和2年度第2回	令和2年3月5日	(東京)	
	第3回	3月27日	(決議の省略)	
	第4回	5月1日	(Zoom ミーティング)	
	第5回	8月5日	(〃)	
	第6回	12月11日	(〃)	
	令和3年度第1回	令和3年2月12日	(決議の省略)	
	第2回	3月7日	(札幌&Zoom)	
	(拡大)常務理事会	令和2年度 第1回	令和2年3月15日	(東京)
	第2回	7月25日	(Zoom ミーティング)	
	第3回	12月7日	(〃)	
総務委員会	令和2年度 第1回	令和2年5月22~27日	(メール会議)	
	第2回	6月30日	(Zoom ミーティング)	
	第3回	11月10日	(〃)	
財務委員会	財務ワーキング	7月29日	(Zoom ミーティング)	
	予算案検討ワーキング	11月4日	(〃)	
	令和2年度 第1回	11月13日	(〃)	
	会 計 監 査	令和3年1月8,20,26日	(東京)	
	監 事 監 査	2月8日	(東京&Zoom)	
編集委員会	令和2年度 第1回	令和2年6月23日	(Zoom ミーティング)	
研究推進委員会	令和2年度 第1回	令和2年8月20日	(Zoom ミーティング)	
	第2回	11月9日	(〃)	
広報委員会	令和2年度 第1回	令和2年5月29日	(Zoom ミーティング)	
企画教育委員会	令和2年度 第1回	令和2年5月29日	(Zoom ミーティング)	
	第2回	7月27日	(〃)	
	令和3年度 第1回	令和3年1月27日	(〃)	
賞等選考委員会	令和2年度 第1回	令和2年10月2日	(Zoom ミーティング)	
年会学術企画委員会	令和2年度 第1回	令和2年6月11日	(Zoom ミーティング)	
	第2回	8月24日	(〃)	
江橋賞選考委員会	令和2年度 第1回	令和2年10月30日	(Zoom ミーティング)	
国際対応委員会	令和2年度 第1回	令和2年7月11日	(Zoom ミーティング)	
オンライン学会検討ワーキング		令和2年9月1日	(Zoom ミーティング)	

7. 会員状況（令和2年12月31日現在）

会員数および異動状況（下段は前年度との差）

代 議 員 (正会員に含む)	名誉会員	永年会員	正 会 員		総 数
			学術評議員	一般会員	
140	127	109	1,247	2,576	4,059
+3	+7	+12	-22	-94	-89

新入会者数：332名，退会者数：421名（逝去者，会費未納除籍者含む）

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。